

技術資料#97

インフォメーション

炉台

薪ストーブの設置に際し、炉台の設置は必須です。

炉台による床の保護が必要な理由は以下2つです。

まず、ストーブからこぼれ落ちる火の粉や熾き、灰に対する保護です。よって不燃性でなければなりません。

第二に、ストーブの前面からの輻射熱と底面からの輻射熱で、可燃性の床材が発火する可能性があるためです。

市販のハースボードもストーブ店で入手可能ですが、顧客が自分で製作を希望することが多くあります。その場合は「技術資料#9：クリアランス及び最小炉台寸法」を参照ください。

1) サイズ

アメリカの最もローカルな建築法規及びストーブマニュアルにおいて、ストーブの両サイド及び後部はストーブより20cm、前面は41cm（カナダのコードでは46cm）が最低必要寸法です。

2) 材料

不燃性の材料でなければなりません。難燃性のハースラグは保護の対象にはなりません。

ストーブ毎に断熱値が指定されていますので、数値はストーブ毎に異なります。インストールマニュアルをチェックしてください。ストーブのサイズは、炉台保護に必要な断熱値に関係ありません。

床面保護はR値（耐熱性）及びk値（熱伝導率）で指定されます（ハースストーンストーブはR値）

一般的に断熱ボードと標準的な厚みのタイル等を組み合わせることにより、必要な効果を得られます。

材料の断熱値に関しては、技術資料#79を参照ください。

例えば炉床ボードの基礎を16mmの合板を使用するとします。その上に12.7mm厚の「DuroRock」セメントボード（R値は0.2）を貼り、仕上げに6.4mmのタイル（R値＝0.02）を組み合わせると、R値合計は0.22です。

そこでR値を増加させるための2つの方法として、セラミックボードもしくは3.2mmの空気スペースがあげられます。

Micore™は入手しやすいセラミックボードです。R値＝1.1です（厚さ12.7mm）

合板とセメントボードの間に12.7mmのセラミックボードを足すと、R値は1.32になります。

空気スペースはさらに大きな断熱効果があります。3.2mmでR値＝0.92

従って、合板とDuroRockの間に3.2mmのスペーサーを加えると、R値＝2.24です。

より多くの保護が必要な場合は、2枚以上のセラミックボードあるいはセメントボードを使用します。